

文芸欄

俳句

梅苑句会（東）
梅の庵寂と尼や近
錦秋の庵寂と尼や近
時枝千穂子
秋夕焼三階歩の足賞め
やうて 深沢 清子
宝愛句らぶ（中）
行く秋にひとしお老い
を感じたり 和子
創作の木の実拾ふや道
つつく 悦子
行く秋の来年こそと旅
マップ 千枝子
吟行の里山歩き秋過ぐ
る 道子
行く秋や帰れぬ定め二
重橋 丘

手一杯どんぐり集め
競う児等 和志
木の実落つ耳に楽しき
座禅かな 哲男
移り行く巷の風情罽雲
梅の美会（兵）
甘噛みの強き猫いる冬
座敷 岡田富早恵
廃屋に赤く熟した烏瓜
藤田ユイ子
ばらばらと松葉が落ち
る庭手入れ 山口 茂子
これよりはテレビの時
間ひざ毛布 栗野 富江
冬支度衣桁に残るシャ
ツ一枚 山田 朝子
乱れ菊自在に咲いて垣
根越し 藤井 歌子
大輪の菊美しき相楽園
春 次子
干し柿のすだれ連ねて
里景色 林 静野

青葉クラブ（北）
水鏡割るごと沼に木の
実落ち 馬場みつえ
かの人は偉業顕著や文
化の日 山本 恒雄
病院のバス待つ角や金
木犀 前川 弘子
高原ささゆり会（北）
新春や鴉の番の飛翔せ
る 簡井 豊子
虫の音やながら読書で
床につき 山下 久一
みてみてとフェンス越
えたるコスモスたち 南 久美子
箸進む酒宴の脇役柚子
胡椒 佐藤かなめ
七種粥味も円やか年お
んな 若林 節子
秋遍路思いたちたる風
の朝 松村二三枝
ひまわり句会（北）
天を突く皇帝ダリア開
花待つ 辻 寿賀子

徐行しつ走る丹波路冬
紅葉 石井 敏子
ひよどり台句会（北）
駅ホーム千個の干柿つ
るされし 塩見 光子
閃閃と落日の海鳥渡る
閃閃と落日の海鳥渡る
三年は生きるつもりで
日記買う 簡井 豊子
子も五十路話濃くなる
星月夜 中井 光子
杖の歩に合はす歩巾や
落葉道 矢谷登美子
北斗句会（北）
たなうらに磨ぎ汁流す
秋の暮 金行 隆
厳かな祝詞に欠伸七五
三 岸下 庄二
スニーカーブーツヒー
ルに紅葉散る 藤井久美子
天平の螺鈿細工や文化
の日 脇坂有多子
散り紅葉川床深しねね
の橋 秋山 弘之

一匙のおろしりんごや
母を抱く 増田 嗣夫
語り部が一節聞かす文
化の日 北条 幸夫
菊芋の掘り上げ日和小
六月 松本 洋子
散紅葉古寺の天空現は
る 黒田 久江
虚子館や桂紅葉の散る
ベンチ 久松 礼子
正座してこの凶作の紅
葉見る 祇園 明敏
福寿草句会（須）
新酒酌み昭和に浸る旧
仲間 林 慎一
手ひねりの揃ひの猪口
の新酒かな 岩田美代子
新酒先づ神饌として拜
殿に 上原 綾子
友の情新酒に込めて荷
の届く 松下修二郎
新酒揚げごとと置きた
る左利き 藤田 栄一
故郷の歌も懐かし赤と
んぼ 高見希豫子

多聞台ときわ会文芸部（垂）
砂塵舞い床一号来た
りしか 大畑留理子
木枯の中泣き顔の母と
いく 中村佳代子
軽トラに満載の大根艶
かし 久下 順司
寄り道のコンビニ大根
独り酒 樋山 隆夫
木枯や別れし人の背は
丸く 山本雄二郎
昆布巻きぶり大根に母
想ふ 木村 敏博
さらく句会（西）
傷心も仕舞ふ抽斗十三
夜 森本 珠実
暮早し玻璃戸に犬の不
安顔 山本スミ子
二年経て雑木黄葉の再
診日 大橋 治子
秋夜長グラス片手に詰
将棋 喜田 弘征
空澄て淡路を望む墓地
に立つ 阪本 道子
一万歩目指し千歩で日
向ほこ 田野 湯仙

月が丘むつみ会（西）
落葉ふむ朝の散歩怪気
も晴れし 藤森 勝子
暮れ懸る秋の山染め大
落陣 川上 富範
実を一つ残して木々は
冬めきぬ 武井 勇二
紅葉燃ゆ顔輝く阿弥
陀像 灘都倉 知子
紙で切る傷の深さや寒
椿 灘山上 幸子
大家族偲びつひとり秋
刀魚焼く（中）延吉 富子
元氣かと朝のテレフォ
ン祖母の声 北江田 正子
明るさを招きし墓苑冬
紅葉 北竹村 良子
昨夜雨を吸ひて枯葉の
また寂びぬ 須高橋 純子
トンネルの先は吊橋紅
葉燃ゆ 須福本 和恵

金木犀手繰る香失せて
うら悲し 垂大上 昭敏
晩秋の夕日真っ赤に沈
む丘 垂藤田 恵子
離宮苑追ふ眼ざしに冬
の蝶 垂山田としゑ
冬晴間残る月日の軽さ
かな 西小幡美沙子
夕暮れに田んぼの煙秋
深し 西芝田 律子
放棄畑アワダチソウや
花の宴 西寺岡 洋子
行く秋を惜しむが如く
蜻蛉飛ぶ 西水澤 清

短歌
花山短歌会（北）
山燃えて風も冷たく秋
進むランニングの人よ
く行きかう 磯元カヨ子
りんごむく音のかすか
に冬の厨切れずに剥け
ていい事ありそう 船崎めり子
花山の歌会を知りて
十三年短歌は我の大き
い支えに 山田加壽代
■個人
啄木も久しき中也にヴ
ェルレーヌ新たに知る
やお家時間よ 灘上田 節子
墓参り息子の車でふる
さとに亡き父母に会い
嬉しい涙 灘酒井 郁美

去年今年蕎麦をすうり
て除夜の鐘昇る朝日は
復興の年に 中水口 敏子
生きました夫が逝って
20余年孫子と集い焼肉
ミント神戸 兵大賀 清子
それぞれが三角になり
丸くなり気儘放題シャ
ネルにはまる 北真木香代子
コーヒの香り芳し元
町のカフェで久々友と
雑談 須江口 啓子
読みかけの本をめぐり
て秋の風そりはい行
く豊みの上を 西秋山シズエ
頭上より甘き香りに見
上げれば金木犀の黄色
き実なる 西古西 澄子

川柳

桂木ひふみ会（北）
愛惜とコロナまみれの
干支飾り 荒木 宗久
ウエストゴム慣れてし
まうと際限無く 上原みなみ
月日の早さ花も愛でず
に年の暮れ 京念久美子
空澄む天体ショーの
月明かり 笹岡 淑子
雲一つない空生きている
喜び 杉尾 悦子

新春の寒げいに立会
いし気合いを入れた声
かけをする 西瀬尾省二郎
ひらきたる花と香りを
そのままだにふわり咲か
せる月花美人酒 西松浦 妙子

寂聴さん白寿ごえのチ
ヤミミンゴ 大和ケント
筑栄会（北）
介護者を支援する我鏡
見る かほう
行革でハンコ廃止もコ
ロナでパー 三茶
紅葉をながめ一服有馬
の湯 ヨシ
山紅葉負けずに我も変
身す とき子
寒さ増し愛猫ふたつ抱
え込む としこ
世界地図ひろげて見る
と脳トレに まり子
テレビ欄今日の一日支
配され まさこ

■個人
成人式伴侶に合うは何
時なのか 増田 芳之
楽しめた二月の一句で
筆終い 中あさとし

先ずは聞く何並んでは
る？年の巧 北植田きみ子
もどかしいそう語る人
おくゆかし 北かんいち
初夢はフライ・ミー・
トゥ・ザ・ムーン 北北野 利一
始まりは観光船で来た
コロナ 北宮内美奈子
女医さんにほめられご
機嫌おじいちゃん 北竜太
八十路過ぎ「ライン」
とやらの友となり 長藤原 道彌
若作りしてもお肌は正
直よ 垂小高 肇
お雑煮は密の時だけ召
し上がり 西萩原 浩一
干柿で我家のベランダ
赤のれん 西藤長 文子

招く菊みな笑顔が見
たくって 西松井 文子

■個人
成人式伴侶に合うは何
時なのか 増田 芳之
楽しめた二月の一句で
筆終い 中あさとし

しあわせの村 本館・宿泊館

1泊2食付き
季節の宿泊プラン

2022年2月28日（月）まで

年末年始：12/31～1/3を除く
休休日：2/14～2/18を除く

本誌ご持参の方に限り
お一人様につき、1,000円割引いたします。

極 3年とぶぐ！
冬の味覚を堪能!!

※極プランは2名様より承ります
・写真はすべてイメージです。
・高齢者とは65歳以上の方です。当日、年齢を証明できるものをご持参ください。
・住入れ状況により一部内容を変更する場合がございます。
・表示料金は1泊2食付き平日11室3名様でご利用の場合です。
・休前日のご利用または1室の利用人数によって料金が変わります。
・料金は税込みです。

高松・障かひ、¥10,500～
一般 ¥13,000～
高松・障かひ、¥8,700～
一般 ¥11,200～
高松・障かひ、¥7,800～
一般 ¥10,300～
高松・障かひ、¥6,000～
一般 ¥8,500～

078-743-8000
(予約受付 9:00～18:00)

相続・終活

老人クラブ会員様
初回相談無料

開所して16年。たくさんのご相談、ありがとうございます。

あじさい総合事務所

予約制 TEL 0120-931-323

毎週土曜日 午前10時～午後4時

税理士・行政書士 高橋 信雄 税理士 浜口 祐介 税理士 播 幹雄
(提携)司法書士 川崎 義幸 (提携)弁護士 濱田 富士郎

甲南スカイビル11F

神戸市中央区多聞通 3-2-9 甲南スカイビル 11 階 TEL 078-595-9200

借金 離婚 遺言・相続 交通事故

老人クラブ会員
そのご家族の方

初回相談料
無料

丁寧にお話をお聞きます。
安心してご相談ください。

弁護士 津田和之
兵庫県弁護士会所属

神戸山手法律事務所

神戸市中央区中町通2-3-2 三共神戸ツインビル10F
E-メール: kobeyamate.law@gmail.com

神戸山手法律事務所 検索

TEL 078-335-5122 月～金曜日
9:30～17:30